
そのくちびるに

まりす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そのくちびるに

【ZPDF】

Z0418V

【作者名】

まりす

【あらすじ】

通勤電車つていつも同じ風景。

でも、今日はいつもと違う時間に乗ることになつたんだよね。

通勤や通学つて、通る道や交通手段がいつも同じになっちゃうよね。
別にそれがイヤってわけじゃなくて、うーん、なんていうのかなあ
…刺激がないっていうか、毎日代わり映えのしない風景の連続つて
いうか。

てつとり早く言えば、刺激が欲しいのかもしれない。

でも、朝はバタバタして余裕ないし、帰りは疲れ果てて元気がない。
ん？通勤途中で何の刺激がほしいんだろう、わたし？

いくら会社で出会いがないからって、あの満員電車の中で、刺激があるわけないか…。

1~2本、乗る電車を早くすれば少しでも空いてるのはわかってる
んだけど、身に付いた習慣はそう簡単に変えられないんだよ
ね。

…とか何とか言つてたら、いつもより早い電車に乗ることになった
んだよね。

言靈？

なんて言つのは冗談だけど、昨日のうちに気づけなくちゃいけない
仕事をついたりとか、うつかりとこつか、まあ会社に置いて来ちゃ
ったわけだ、これが。

しかも、気付いたのが夜中なんで、泣くに泣けない…。

ともかくいつもより早めに起きて、いつもより早い電車に乗ること
になつたわけ。

時折揺れる電車の震動が睡眠不足の体に心地よく響く。

この揺れが眠りを誘うのよ、きっと。

いつもより早い時間帯のせいで、空いていた車内。珍しく座席に座
つたもんだから、睡魔に引き込まれそうになるのを止められそうに

なかつた。

で、ついカツクンと頭が落ちた衝撃に、ハツと目が覚める。
ああ、このまま帰つてベッドに丸くなりたいな。

そんなことを考えていたら、視界の端に高校生の男の子が映つた。
ドアにもたれて、さつきまでのわたしのようにうつらうつらと舟を
漕いでいる。

その様子がなんだか可愛くて、つい笑つちゃつた。
すると彼のまぶたがパツと開き、目が合つ。

目が合つたんだけど、わたしの目を奪つたのはなぜか唇。
薄くもなく、厚くもなく、触れたらひんやりしていそうな、その唇

に。

そうしてどれくらい見ていたのか…短かつたのか、長かつたのか…
それもわからない。

ガタンと大きく電車が揺れたことで、彼から、正確にいえば、彼の
唇から目が離れた。

いけない、いけない。何してるんだか…。でも…妙に気になる。

ふと目線を元に戻せば彼とまた目が合つてしまつた。
さつきまでは唇ばかりに氣を取られてたから気付かなかつたけど、
結構可愛い顔してる。

目の保養だわ。会社に着けば、あんな涼しげな顔してる人いないも
の。

でもあんまり見てるのも失礼よねえ…。

そんなことを考えてたら、彼が首を傾げた。

その拍子にまた唇に目が行つてしまう。

キスしたい…。

唐突にそう思つた。

あのひんやりしてそうな唇にキスしたら、きっと…。

「間もなく……駅に到着します」電車内に流れのアナウンス。
あ、降りなきや。

降りる支度を始めたから、自然に視線は外れた。
けど……キスしたいだなんて、何考えてんだろ。欲求不満のかし
ら。

確かに彼氏いないけど、相手は高校生だよ。幾つ違うと思ってるの?
降りる間際振り返るとまた彼と田が合つてしまつた。

でもきっともつ余つことではないはず。だって今日はたまたまこの時
間の電車に乗つただけだもの。

あ、そうだった。仕事。

やだ。いつの間にか仕事をことを頭の片隅に追いやつてた。
慌てて電車から降りると会社へ向かう。

なんとなく後ろ髪引かれるのさきと氣のせい。

(後書き)

なろう様での初のオリジナル（？）です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0418v/>

そのくちびるに

2011年7月23日13時14分発行